

## 据付説明書

ドラム式電気洗濯乾燥機（家庭用）

品番 NA-VH300L

据え付けは、必ずお買い求めの販売店または指定サービス店にご依頼ください。  
お客様は据え付けしないでください。

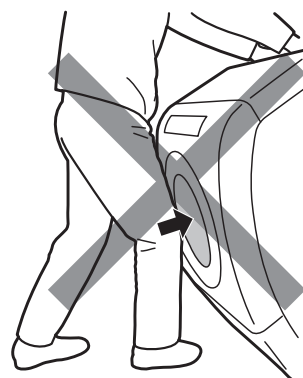
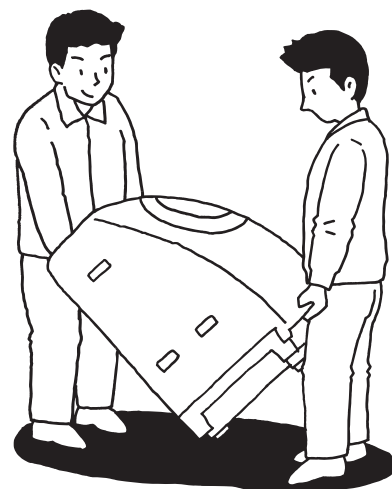
### 据え付けをされる方へ

- この説明書はNA-VH300Lで説明しています。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に据え付けしてください。
- 据え付け終了後「点検・試運転をする」に基づいて必ず確認を行ってください。
- 外した輸送用固定ボルト、付属のスパナは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。
- この説明書は据え付け終了後、お客様にお渡しください。
- この据付説明書どおりに据え付け・取り付けをしないと事故・損害を生じても当社は一切責任を負えません。
- 転居や配水管の洗浄などで再据え付けする場合がありますので、この説明書は据え付け後も「取扱説明書」とともに大切に保管してください。

### お客様へ

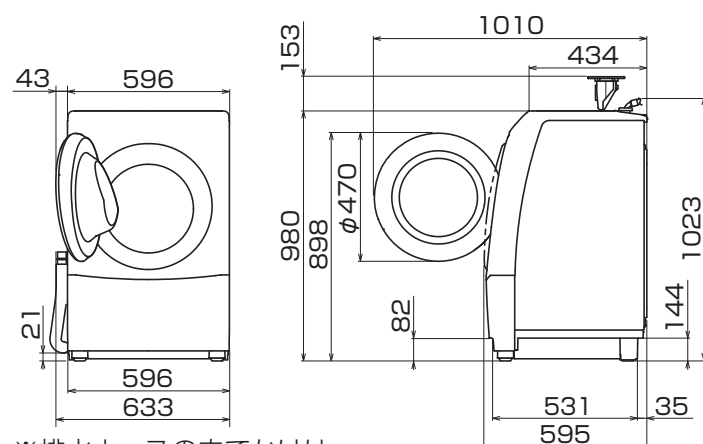
■運搬は必ず2人で行ってください。

■据え付けなどで本体を前に傾けたときに、ドアの中央を強い力（ひざなど）で押さないでください。（ドアが変形します）



### ■製品寸法・質量

（単位：mm）



※排水ホースの立てかけはできません。

機種	質量
NA-VH300L	79 kg

※ドアが開いた時のドアと壁までの距離に注意願います。



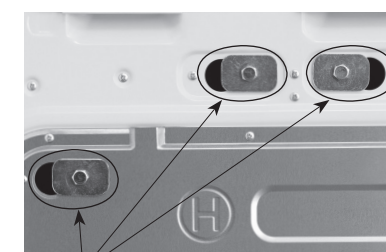
W9903-8GU

## 1. 据え付け前に 輸送用固定ボルトを外しカバーを取り付ける

異常振動を防ぐために！

### 1 輸送用固定ボルトを 付属のスパナで外す

内部を固定していた3本の輸送用固定ボルトを外します。輸送用固定ボルトがついたまま運転すると振動が大きくなったり、商品が動くことがあり危険です。



輸送用固定ボルト（本体背面）

### 2 付属のカバーをネジで 取り付ける

カバーのツメを穴に差し込み、ネジで固定する。（3か所）

ツメ カバー ネジ

### ⚠ 注意

❗ カバーを必ず取り付ける  
（端面などでケガをするおそれ）

### お願い

●外した輸送用固定ボルト、付属のスパナは転居などの際に必要です。お客様にお渡しください。

●本体を輸送などするときは、逆の手順で付けてください。  
なお、本体内から残水がこぼれる場合がありますので、残水を十分抜いて運搬してください。

※イラストはイメージ図です。

こんなときは別売品を用意してください

## 別売品

希望小売価格は  
2013年3月現在・税込

### ■外部排水ホースの 長さが足りないとき

- 「延長用排水ホース」  
●(1 m)AXW2D-31  
1,365円
- (2 m)AXW2D-32  
2,100円

### ■給水ホースの長さが 足りないとき

- 「延長用給水ホース」  
●(0.5 m) AXW1251-250  
1,365円
- (1 m) AXW1251-201  
1,785円
- (2 m) AXW1251-202  
2,100円
- (3 m) AXW1251-203  
2,415円
- (5 m) AXW1251-205  
3,623円



横水栓

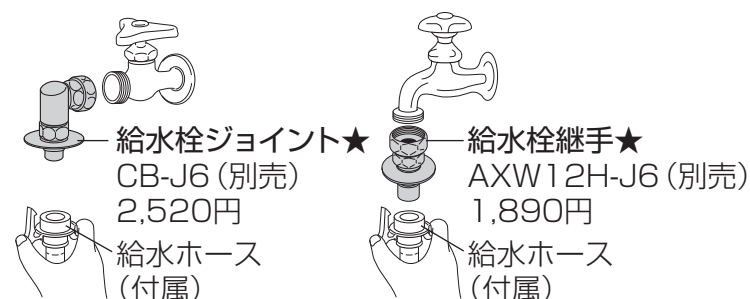
### 付属の給水栓つぎては 横水栓のみ使用できます

- 付属の給水栓つぎてと下記紹介の別売品（★印）以外を使用すると、外れて水漏れする恐れがあり、保証はできません。

### ■横水栓以外の場合は

万能ホーム水栓	ワンタッチ式水栓	自在水栓	カップリング横水栓
取り外す	取り外す	取り外す	取り外す

→別売の給水栓ジョイント・継手が必要です。

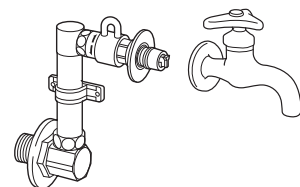


### ■横水栓で 給水口の直径が 24 mm以上 あるときは



### ■水栓の位置が低く、 本機の背面に水栓が 当たるとき

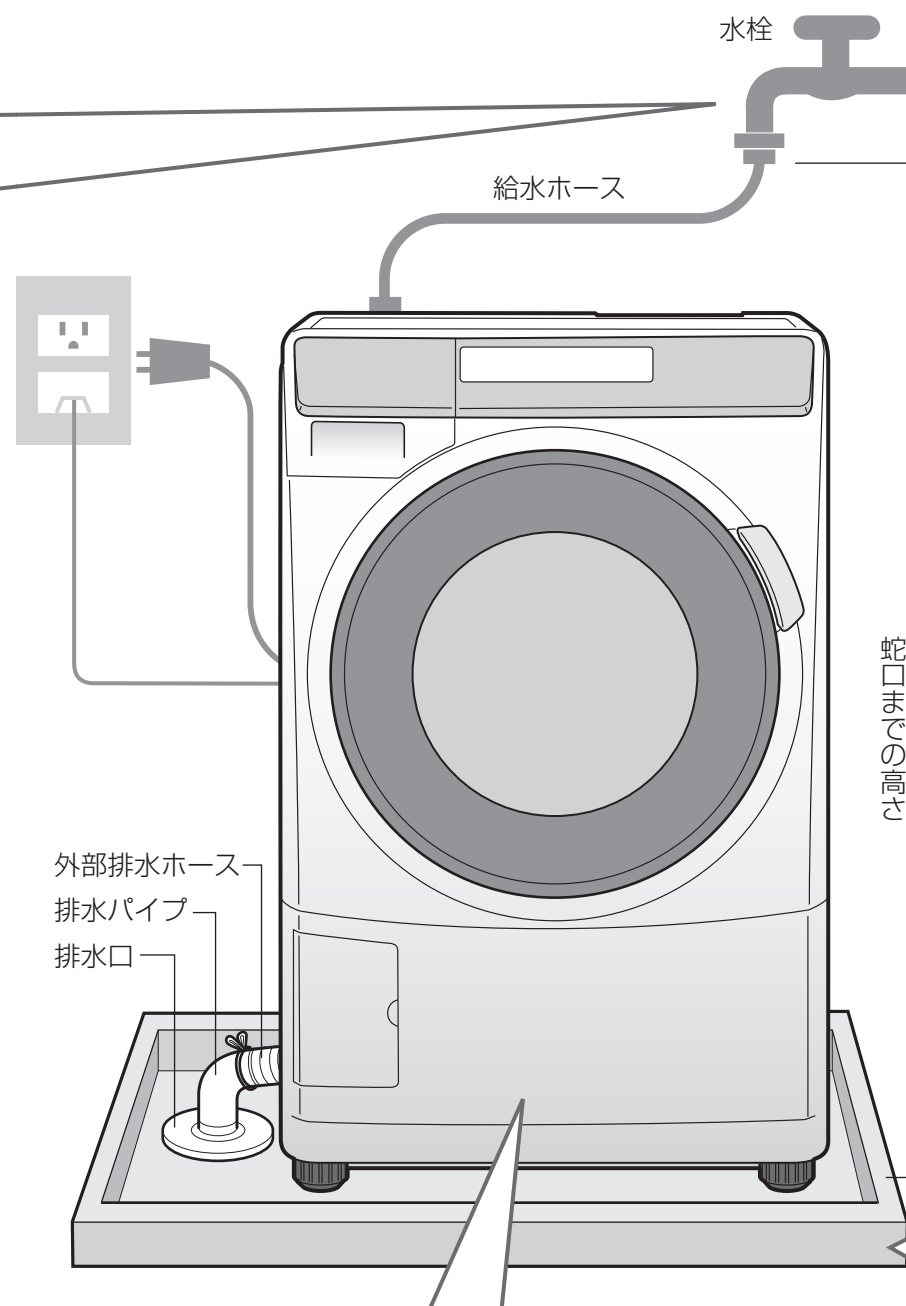
壁ピタ水栓★  
CB-L6 (別売)  
6,825円



蛇口までの高さ	壁ピタ水栓
1220 mm以上	不要
1220 mm未満 980 mm以上	蛇口の タイプにより 要
980 mm未満	要

### お知らせ

- 分岐水栓などを利用して、洗濯機給水専用には水栓を分岐すると便利です。  
※給水ホースの取り付け・取り外しの必要がありません。

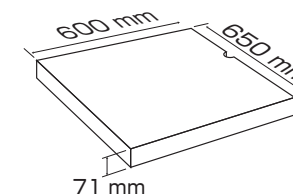


### お願い

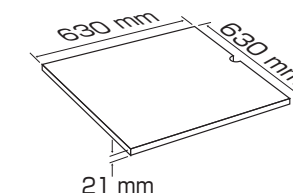
本体を据え付けする前に、排水口の掃除をしてください。  
(排水口に糸くずや異物がたまっていると、悪臭やエラー表示 (U11) の原因)

### ■据え付け面が弱いとき

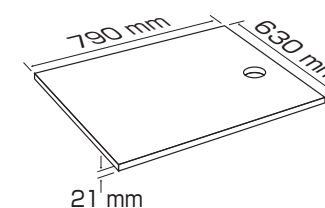
- 床 (真下排水) の場合  
「補強板A」 NSD-600 (別売)  
11,550円



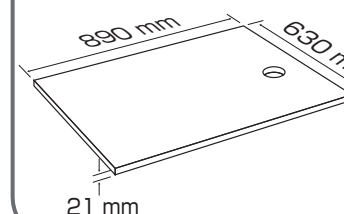
- 床 (真下排水以外) と  
防水フローア(640 mm)の場合  
「補強板B」 NSD-630 (別売)  
8,400円



- 防水フローア(幅800 mm)の場合  
「補強板C」 NSD-790 (別売)  
8,400円

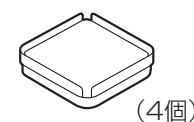


- 防水フローア(幅900 mm)の場合  
「補強板D」 NSD-890 (別売)  
8,400円



### ■排水口が本体の下で、排水パイプがあるとき

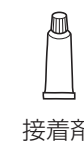
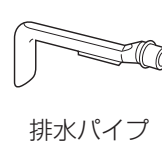
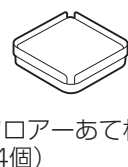
「フローアあて板」(1セット4個組)  
N-MH3 (別売) 1,050円



※1セットで、本体と据え付け面 (床面) の高さスペースを約2 cm確保できます。

### ■排水口が本体の下で、排水パイプがないとき

「真下排水ユニット」(4-A.排水口が真下のとき)  
N-MH2 (別売) 2,100円





## 2. 据え付け前の準備

### 1 据え付け場所の確認

#### ■次のような場所には据え付けしない

- ・冬期凍結のおそれがある場所  
(凍結すると洗濯も乾燥もできません)
- ・直射日光が当たる場所
- ・窓や換気扇のない場所
- ・平らでなく、しっかりしていない場所  
(ブロックや角材、レンガの上やキャスター付の台など)



**警告**



水をかけない、  
水場や湿気の  
多い場所に  
置かない

(感電・火災のおそれ)

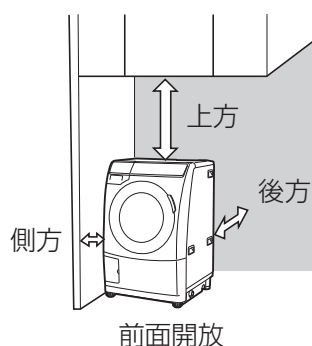
#### お願い

- 本体の下をカーペットなどでふさがないでください。
- 本体の周りに糸くずなどが蓄積しないようにしてください。

本体の金属部分が、家屋の金属板、流し台のステンレス板などと電氣的に接触しないようにしてください。  
法令により義務づけられています。

法令：電気設備の技術基準の解釈

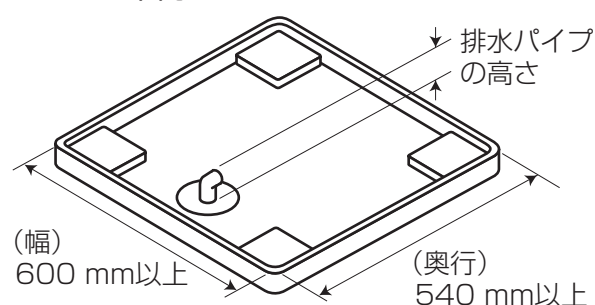
#### ■収納して据え付けする場合は、前面を開放して壁面から表の寸法以上離してください



消防法 基準適合 組込形 可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	後方	下方
15	1*	1	0

※ 排水ホースの接続側は  
9 cm以上

#### ■防水フロアは、内寸が幅600 mm×奥行540 mm以上であることを確認する

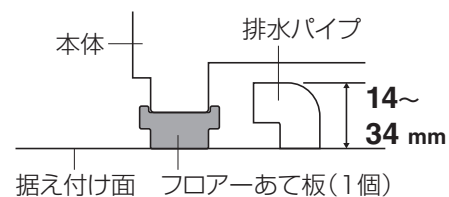


### 据え付け前のご注意

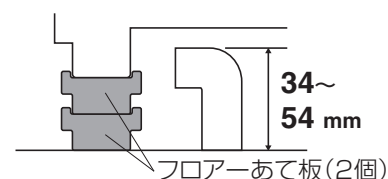
#### ■排水パイプの高さをチェックしておく (真下排水時のみフロアあて板(別売品)を おく)

本体の下に排水口がある場合は、排水パイプが内部部品を傷つけないよう、高さを確保する必要があります。

#### ●据え付け面より排水パイプが14~34 mm出ているとき



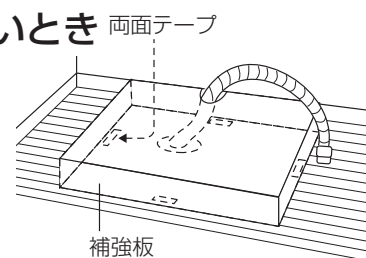
#### ●据え付け面より排水パイプが34~54 mm出ているとき



#### ■据え付け面が弱いとき 両面テープ

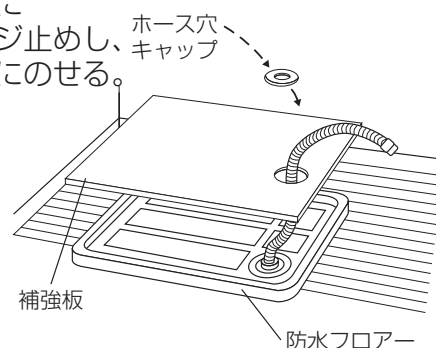
##### ●補強板(別売品) で床を補強する

- ①補強板の裏側に両面テープを貼り、
- ②床に固定する。

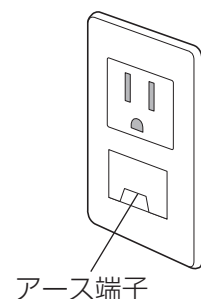


##### ●補強板(別売品)で 防水フロアを補強する

- ①補強板の裏側に固定金具をネジ止めし、
- ②防水フロアにのせる。



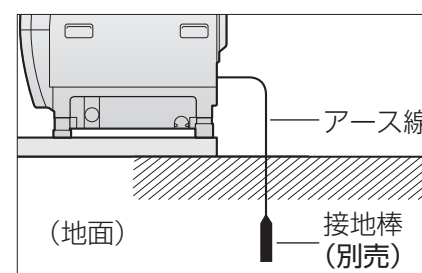
### 2 電源・アースの確認



#### ■電源コンセントにアース端子がある場合

- 接地抵抗値(100 Ω以下)を確認してください。

#### ■電源コンセントにアース端子がない場合



#### ●電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるD種接地工事を行ってください。

このほかに必ず漏電遮断器が必要です。使用する電源回路に漏電遮断器がない場合は、必ず取り付けてください。

(法令で規定されています。)



**警告**



**定格15 A・  
交流100 V  
のコンセントを  
単独で使う**

(他の器具と併用すると発熱による火災の原因)

- 本機は乾燥機付きの洗濯機のため、コンセントは定格15 A以上のものが必要です。



**アースを  
取り付ける**

アース線  
接続

(漏電時に感電のおそれ)

- アース工事は必ず販売店または電気工事店に依頼してください。  
(工事費は、本体価格に含まれてません)

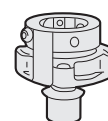
#### ●ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路および漏電遮断器を入れた他の製品のアース回路には、接続しないでください。

(法令等で禁止されています)

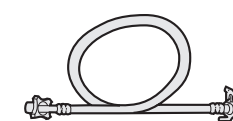
- 据え付け場所の変更やご転居の際には、必ず再度アースの取り付けを行ってください。

### 付属品 (据え付け必要分のみ)

- 給水栓つぎて (1個 給水ホースとセット)



- 給水ホース (1本:長さ0.8 m)



- 外部排水ホース (1本:伸縮式)



- ネジ隠しシール (2枚)

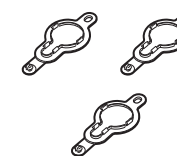


ネジ(2か所)  
を隠す場合  
に貼付する。

- スパナ (1個)

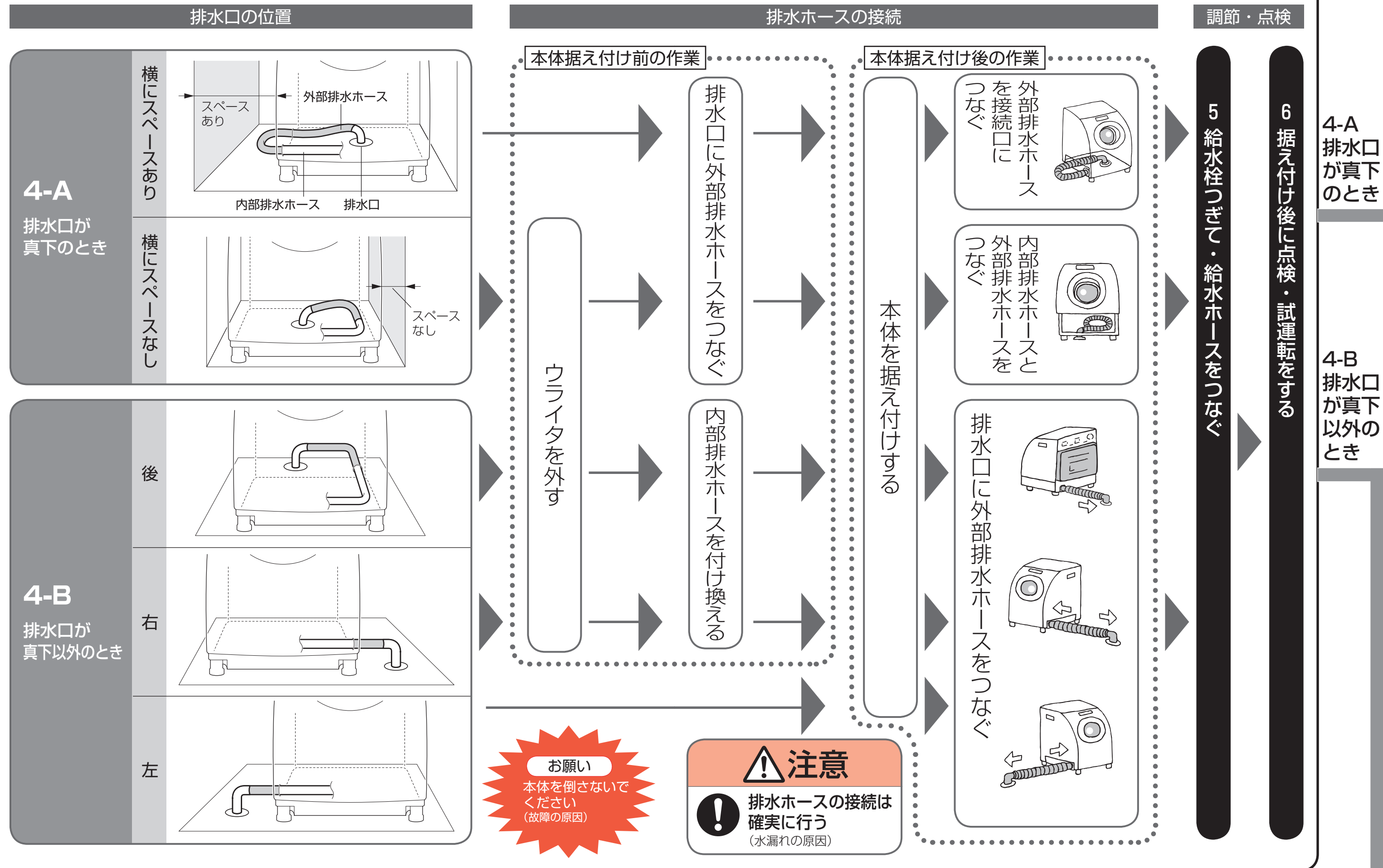


- カバー (3枚)



据え付け前に  
輸送用固定ボルトを外し  
カバーを取り付ける

※本体の接続口（外部排水ホース接続部）は、初めは本体向かって左側にあります。

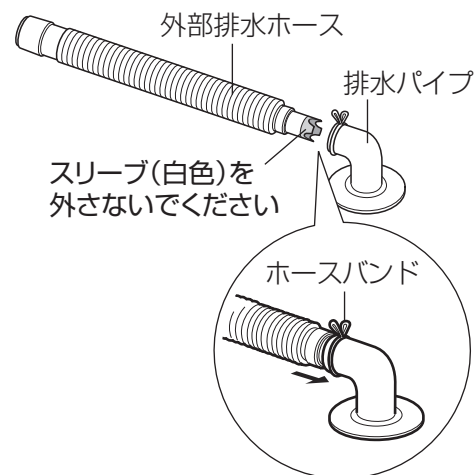


## 4-A.排水口が真下のとき

### 排水パイプの確認

### 排水口にホースをつなぐ

排水口に  
排水パイプ  
があるとき

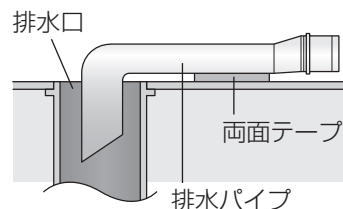


- ①排水パイプに外部排水ホースを取り付ける  
ホースバンド等でしっかり取り付け  
抜けないことを確認

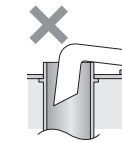
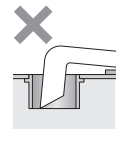
■据え付け面が弱いとき(2.据え付け前の準備)

真下排水ユニット(別売品)を用意する

- ①排水口に排水パイプを取り付ける



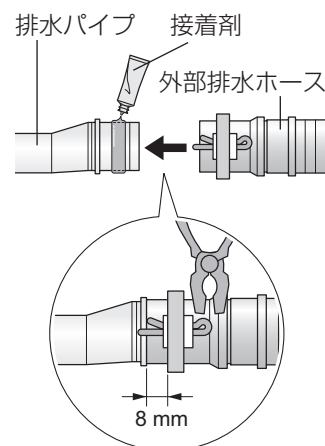
確認



底にあたる場合は、  
あたらないように  
カットしてください

底にあたる 床面より高い

- ②排水パイプに外部排水ホースを取り付ける



■据え付け面が弱いとき  
(2.据え付け前の準備)



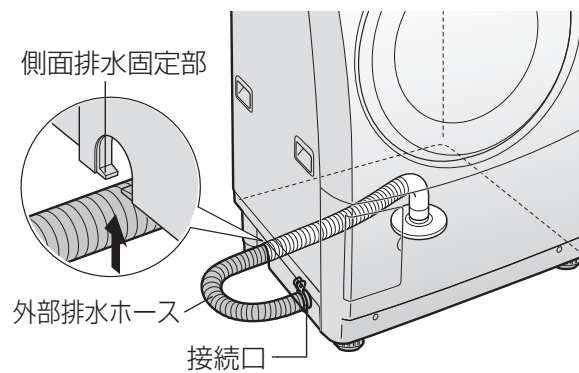
外部排水ホースを直接  
排水口につながらない。  
(真下排水ユニットを  
必ずご使用ください)

排水口に  
排水パイプ  
がないとき

### 横スペースの確認

### 内部排水ホースを付け換える

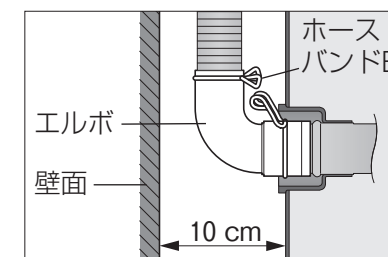
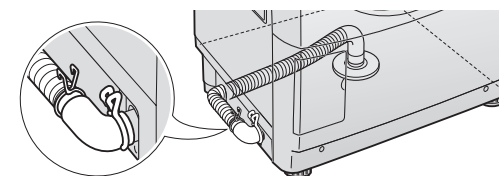
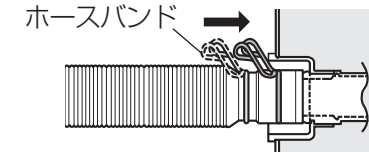
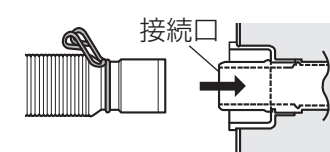
横に  
ホースを  
出す  
スペースが  
あるとき



お知らせ

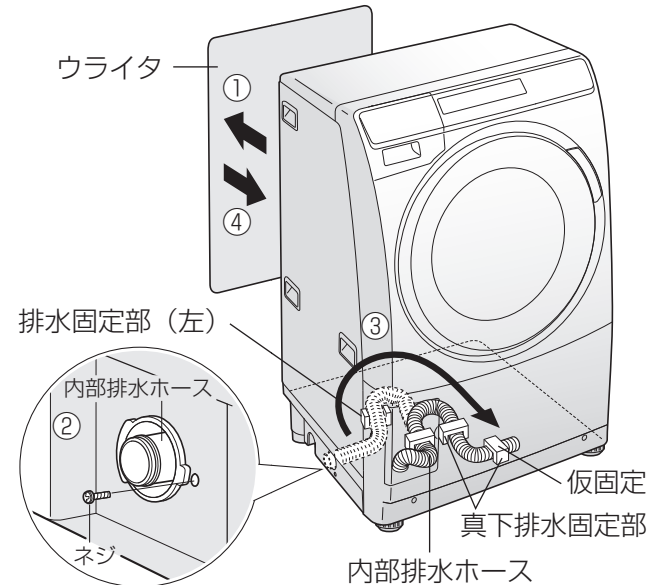
■横のスペースが10 cm程のときは  
「真下排水ユニット」(別売)の「エルボ」と  
「ホースバンドB」をお使いください。

- ①本体を据え付けする
- ②外部排水ホースを本体の側面排水固定部にはめ込む
- ③外部排水ホースを接続口につなぐ

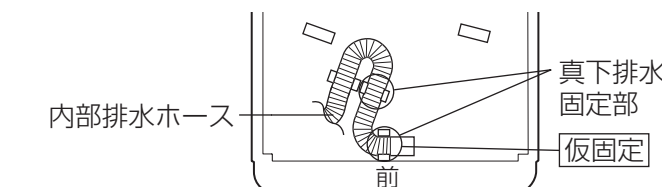


横に  
ホースを  
出す  
スペースが  
ないとき

■本体据え付け前の作業

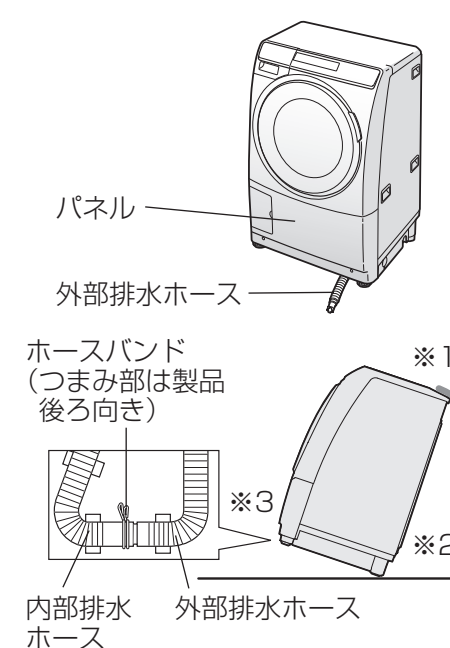


- ①ウライタを外す
- ②左側のネジを外し、内部排水ホースを  
排水固定部(左)から抜く
- ③本体を後ろに傾け、内部排水ホースを  
真下排水固定部2箇所固定する

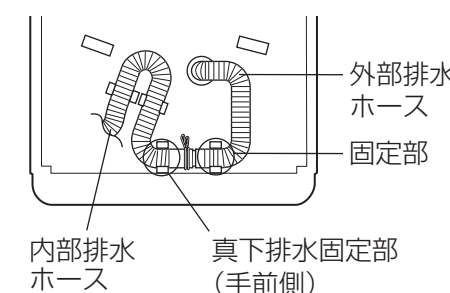


- ④ウライタを元に戻す

■本体据え付け後の作業



- ⑤外部排水ホースの先端部が  
本体右前にくるように  
本体を据え付けする
- ⑥本体を後ろに傾け、真下  
排水固定部(手前側)を  
外し、内部排水ホースと  
外部排水ホースをつなぎ、  
ホースバンドで固定する  
※1 壁に傷が付かないように、  
布等で保護してください。  
※2 本体を2 cm程度手前側に  
移動して傾けると作業しや  
すくなります。  
※3 前面スペースが狭い場合は  
パネルを外す、または、フ  
ロアーあて板(別売品)を  
追加すると、作業がしやす  
くなります。



- ⑦本体を後ろに傾けたままで、  
外部排水ホース・内部排水  
ホースを本体の内部に挿入  
し、外部排水ホースは固定  
部に、内部排水ホースは  
真下排水固定部(手前側)  
に固定する

5 給水栓つぎて・給水ホースをつなぐ

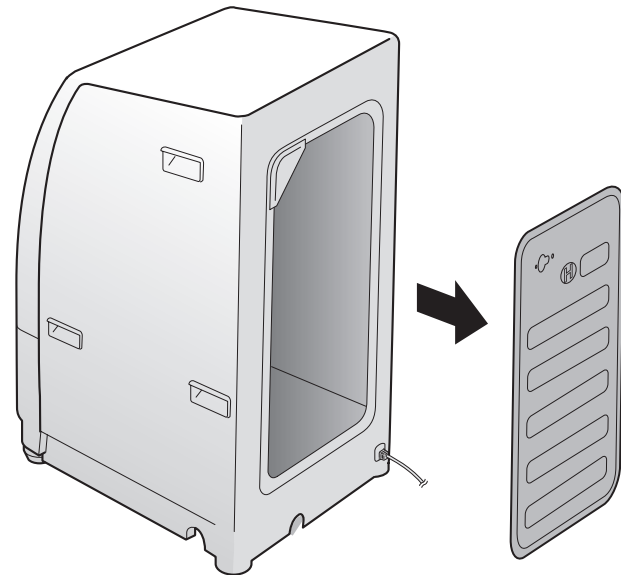


## 4-B.排水口が真下以外のとき

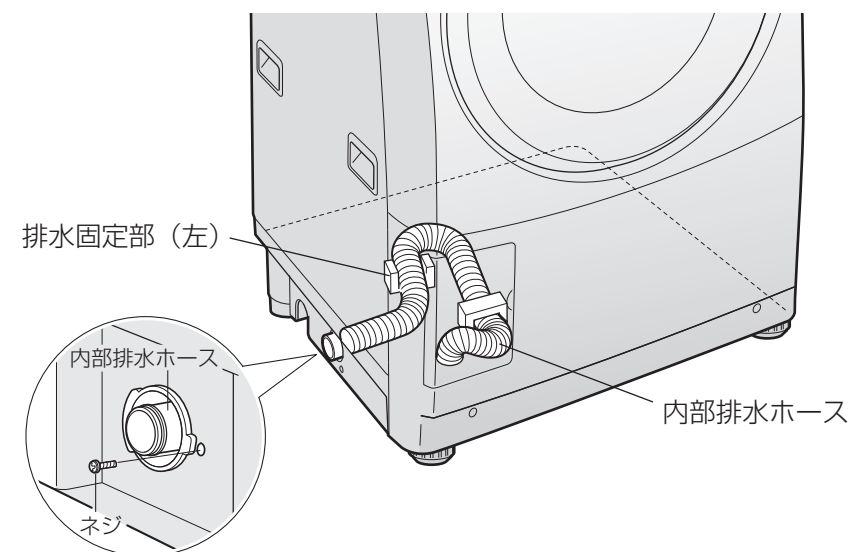
排水口が左側のとき：“本体を据え付けする”から始めてください

排水口が後方及び右側のとき：ウライタを外す

### 1 ウライタを外す



### 2 左側のねじを外し、内部排水ホースを排水固定部（左）から抜く （内部排水ホースを元に戻す時は固定部に入れるのを忘れないこと）

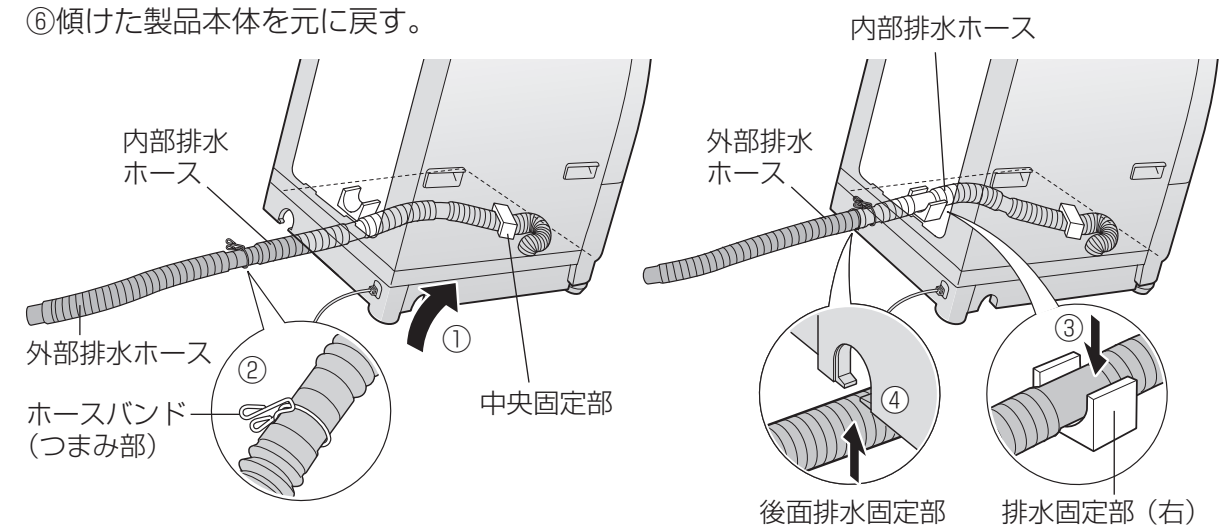


#### 排水口の位置

排水口が  
後方に  
あるとき

#### 内部排水ホースを付け換え、外部排水ホースとつなぐ

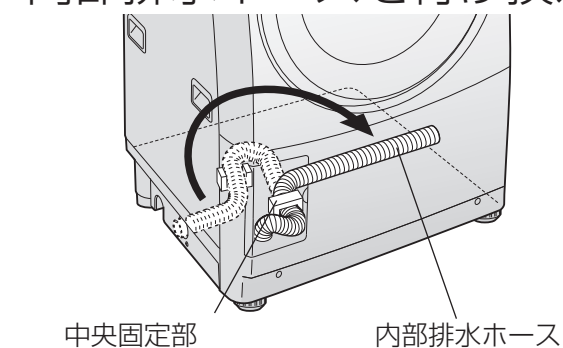
- ①製品本体を前に傾ける。
- ②内部排水ホースに外部排水ホースを取り付け、ホースバンドで固定し、図のようにホースバンドのつまみ部を横に向ける。
- ③本体内に挿入し、内部排水ホースを図のように排水固定部（右）に固定する。
- ④外部排水ホースを後面排水固定部に取り付ける。
- ⑤ウライタを元の位置に取り付ける。
- ⑥傾けた製品本体を元に戻す。



●内部排水ホースの中央固定部は、絶対に外さないでください。

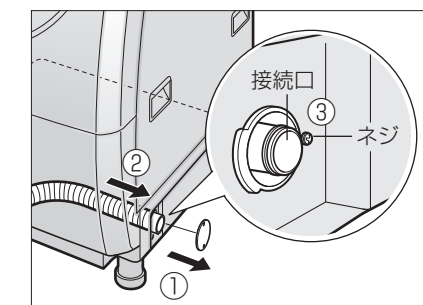
排水口が  
右側に  
あるとき

#### 内部排水ホースを付け換える



●内部排水ホースの中央固定部は、絶対に外さないでください。

- ①本体右側面のカバーを外す。
- ②内部排水ホースを右側面排水固定部に固定する。
- ③接続口を右側にネジで固定する。

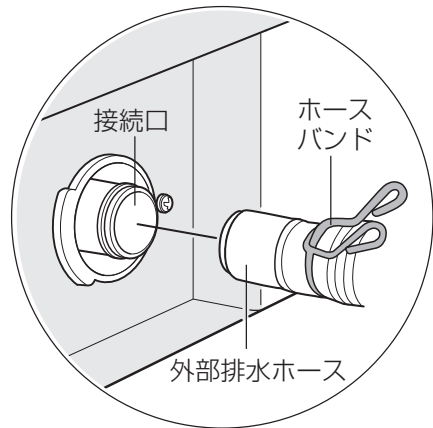


- ④外したカバーは本体左側面に付ける。
- ⑤ウライタを元の位置に取り付ける。

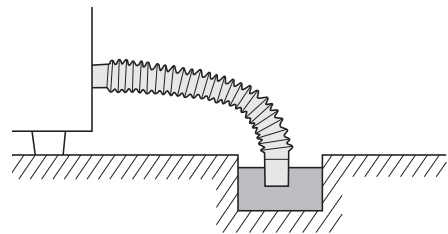
本体を据え付けする

## 外部排水ホースをつなぐ

### 1 外部排水ホースを接続口に接続する (排水口が右側または左側にある場合のみ)



●先端を水中に入れない！

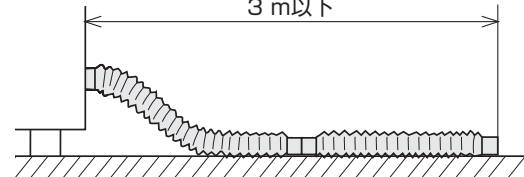


### ■外部排水ホースの引き回し

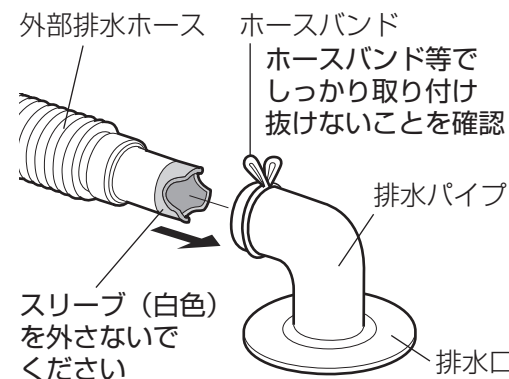
(排水口に排水トラップがある場合)  
途中の立ち上がりはなるべく低くしてください。  
排水トラップ  
なるべく低く  
(10 cm以下)

(排水口に排水トラップがない場合)  
途中で約10 cm立ち上げてください。  
10 cm  
台など 排水トラップ  
なし

●延長するときは3 m以下！

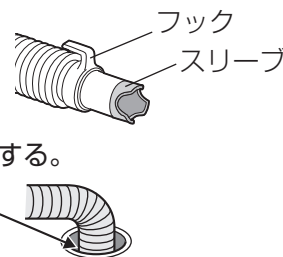


### 2 外部排水ホースを排水パイプに接続する



●先端部を直接、排水口に差し込む場合

- ①スリーブ（白色）を外す。
- ②ホース先端部を押さえてつばしながらフックを抜く。
- ③スリーブ（白色）を付ける。
- ④排水口に差し込み、引っ張っても抜けないことを確認する。



### 外部排水ホースの長さが足りないとき

別売の内径30 mmの延長用排水ホース  
(1 m: AXW2D-31 2 m: AXW2D-32)  
をお求めになり、図のように接続してください。

①延長用排水ホース（別売）を差し込む



②ホースバンドで固定する

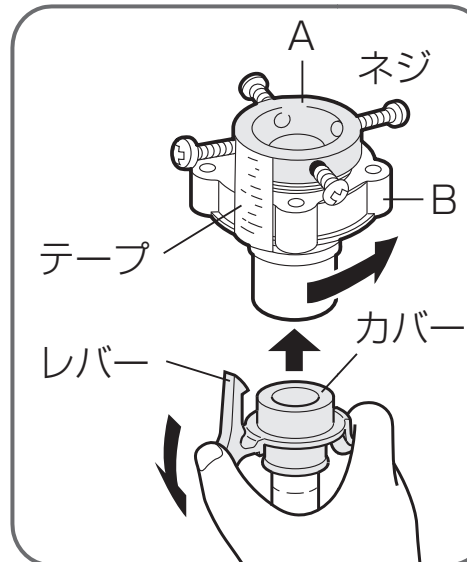


## 5. 給水栓つぎて・給水ホースをつなぐ

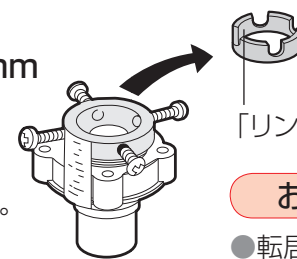
### 1 給水栓つぎてのネジ（4本）をゆるめ (水栓蛇口の径まで) 水栓に押し上げ、 ネジを均等に締める

※壁などで後ろが狭い場合は、奥のネジを前もって調整しておく。

### 2 テープをはがし、 Bを右に回して Aにしっかり 締め付ける

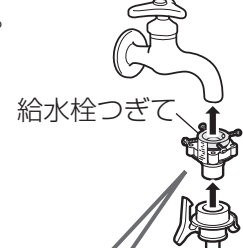


■水栓の径が  
18~24 mm  
の場合  
ネジ（4本）  
をゆるめ、  
リングを外す。



### 3 給水ホースのナット部を、 給水弁ネジに押し当てる

### 4 エルボ部を 持ち上げ気味に、 ナットを締め付ける

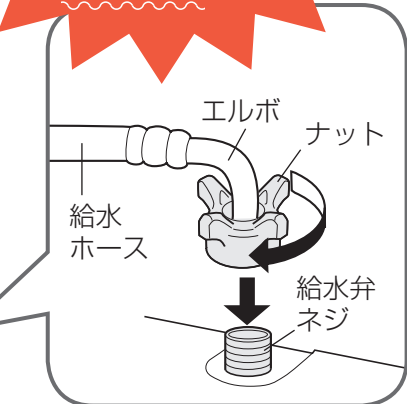


お願い

給水栓つぎて・給水  
ホースは必ず新品を  
取り付けてください  
(旧部品をそのまま使用  
すると水漏れの原因)

お願い

給水ホースの引き回し  
をしやすいように、  
エルボの位置決めを  
したあとに、傾かない  
ようにしっかりと最後  
までナットを締め付け  
てください  
(締め付けが不十分な場合  
は水漏れの原因)

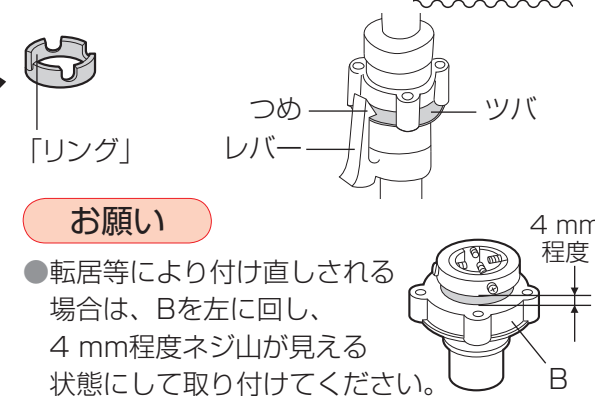


### 5 給水ホースを 給水栓つぎてに 押し上げる

(レバーを押し下げたまま)

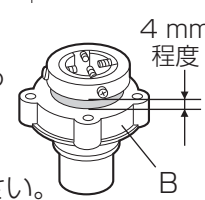
### 6 給水栓つぎての ツバ部に、 レバーのつめを 確実にかける

(つめが外れると水漏れの原因)



お願い

●転居等により付け直しされる  
場合は、Bを左に回し、  
4 mm程度ネジ山が見える  
状態にして取り付けてください。



### ⚠ 注意

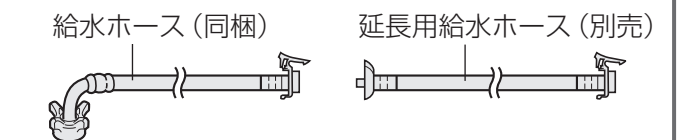
給水栓つぎての  
B部をしっかり  
締め付ける  
(水漏れの原因)

### ■給水ホースの外し方

1. 水栓を閉じる
2. ドアを開め、電源「入」にし、スタートボタンを押しホース内の水を抜く  
(水の飛び散りを防ぐため)
3. 約1分後、電源を切る
4. レバーを押し下げたままカバーを引き上げて外す

### ■給水ホースの長さが足りないとき

●販売店で延長用給水ホースをお求めください。



6 据え付け後に点検・試運転をする 表面へ

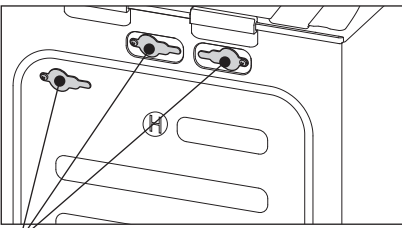


# 6.据え付け後に点検・試運転をする

## 点検項目

据え付け後に以下の項目をチェックして試運転を行ってください。チェック後、必ずサインを記入しお客様に据え付け完了の説明を実施してください。

### 振動・異常音の原因



- ☐ 輸送用固定ボルト(3本)が外され、カバーが取り付けられていますか？
- ☐ 排水ホースの立上がりは10 cm以下になっていますか？
- ☐ 排水口に異物等がたまっていますか？
- ☐ 排水ホースや接続部などから水漏れしていませんか？

- ☒ チェック 担当者サイン
- ☐ 給水ホースや接続部などから水漏れしていませんか？
  - ☐ 水準器の円内に気泡があり、水平であることを示していますか？
  - ☐ 本体はしっかりした場所に、ガタつきなく据え付けされていますか？  
(「ガタつきの確認方法」参照)
  - ☐ 電源はコンセントを単独で使っていますか？  
(定格15 A、交流100 V)
  - ☐ アースは接続されていますか？
  - ☐ 脚(4か所)はゆがんだり、変形していませんか？
  - ☐ ネジ隠しシールは貼付していますか？

## 必ず試運転をする (試運転しないと、水漏れのおそれがあります)

- 水漏れや異常音・振動\*がないこと、また正常に排水することを確認してください。
- ドラム内に何も入れないで下記の手順で確認運転をしてください。

- 水栓を開く
- ドアを閉め、運転を開始する
  - ・ **脱水** + **コース** を押しながら **入** を押す。
  - ・ **888** を表示中に **コース** を押す。
  - ・ 残時間 **4** (4分) が表示され、運転を開始します。
- 約4分点検後、自動終了します。

(「U10」検知の前に給水されます)

※ 床が弱い場合は補強板を使用してください。  
(別売品：参照)

- 異常振動はありませんか？ →水平を確認してください。
- 水漏れはありませんか？ →ホースを正しく接続してください。
- 以下の異常時は、エラー報知をします。
  - U10** ※1 ・輸送用固定ボルトを外しましたか？
    - ・輸送用固定ボルトを外しても「U10」が表示される場合、脱水運転をしてください。異常音や異常振動がない場合は問題ありませんので、そのままご使用ください。  
(輸送用固定ボルトが外されていても、気温が低いなど)の原因で「U10」が報知される場合があります。
  - U11** ※2 ・排水ホースの立上がりは10 cmより高くなっていませんか？
    - ・排水ホースを正しく接続しましたか？
    - ・排水口が詰まっていますか？
  - U14** ※2 ・給水ホースを接続し、水栓を開きましたか？

※1 輸送用固定ボルトを外し、電源を入れ直し再度試運転をやり直してください。  
※2 エラー状態解除後、ドアを開閉すると試運転を再開します。

## パナソニック株式会社 ランドリー・クリーナービジネスユニット

〒525-8555 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

電話 077-563-2155(大代表)

© Panasonic Corporation 2013

W9903-8GU00

S0113-0

## 水平を確認する

### 水準器を見て



水平



右が高い



左が高い



後ろが高い



前が高い

### 傾きを調節

調節は不要

右を低くするか  
左を高くする

左を低くするか  
右を高くする

前を高くする  
(2か所)

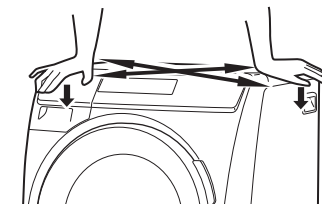
前を低くする  
(2か所)

異常振動を防ぐために

### ■ガタつきの確認方法

天面对角コーナーを交互に押して脚のガタつきがないか確認してください。

ガタつく場合は脚の高さを調整し水準器で水平を確認してください。



### ■傾きを調節するとき

- ① **ゆるむ** に回して緩める。
- ② 高くするか低くして傾きを調節する。
- ③ **しまる** に回して固定する。

※調節脚は前部2か所です

